

＜ 地理歴史 ＞科 学習シラバス

科 目	日本史B	学年・類型	3年Ⅱ型	単位数	4	教科書	最新日本史(明成社)
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・中世以降の我が国の歴史の展開を、世界の動向との関わりの中で考察させる。 ・歴史への関心を高めるとともに、歴史的思考力を身に付け、常に現代社会とのかかわりで歴史を考える態度を育成する。また歴史学習の成果をもとに自らの生き方を考えさせる。 					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 資料活用の技能	D 知識・理解			
評価の内容	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を思ふこととする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取組状況 ・ノート等 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動における発言内容 ・予習や復習、課題への取組状況 ・ノート等、長期休業中課題 ・定期考査 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	第2編 中世 第5章 武家社会の展開と文化の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の成立と安定について、国内諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・日明貿易など東アジア世界との交流を学び、それが社会や文化に与えた影響を理解する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭をふまえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 	○	○	○	○
	5	第3篇 近世 第6章 天下統一への動き 第7章 封建社会の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を踏まえて、織豊政権の特色と意義について考察する。 ・幕藩体制の確立過程とその支配体制を多面的に考察する。 ・鎖国政策について、その過程と影響、歴史的意義について考察する。 ・文治政治への転換から元禄時代・正徳の治など、幕政の安定過程を考察するとともに、諸産業の発展について理解する。 ・町人文化の形成について、幕藩体制の安定と経済の発展と関連させて理解する。 	○	○	○	○
	6	第8章 幕政の進展と文化の普及 第9章 封建社会の動揺と文化の爛熟	<ul style="list-style-type: none"> ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて、幕府が衰退していく過程を考察する。 ・化成文化について、学問・思想・教育・文学・美術などの新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ・国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至る過程を、社会・経済面での変化と関連させて考察する。 	○	○	○	○
	7	第4編 近代・現代 第10章 開国と幕末の政局	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから、幕府の滅亡に至る過程を理解する。 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 	○	○	○	○
2 学 期	8・9	第11章 明治維新と近代国家の成立 第12章 立憲国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米の文化・思想の導入と一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と、言論による要求実現への転換を理解する。 ・政府による中央集権体制強化の中、自由民権運動の経過を踏まえて立憲国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 	○	○	○	○
	10	第13章 近代日本とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争開戦に至るそれぞれの国際関係や経過・影響を考察する。 ・立憲体制成立後から桂園時代に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。 	○	○	○	○
	11	第14章 国際情勢の転換と日本 第15章 世界の動乱と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 ・ワシントン体制に至る協調体制の進展など国際環境の推移を、考察する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、軍部の台頭にも着目して考察する。 	○	○	○	○
	12	第16章 占領統治と日本の独立	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸革について、その経過と内容を考察するとともに、集大成としての日本国憲法制定の意義を理解する。 ・占領の終結とその後の日米関係について、様々な国の立場から考察する。 	○	○	○	○
3 学 期	1	第17章 高度経済成長と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本が民主主義国家として復興をとげ、経済大国に成長していく歩みを、世界の動向と重ね合わせながら理解する。 ・現代世界の中で日本が置かれた立場や課題、これから果たすべき役割について考察する。 	○	○	○	○
	2			○	○	○	○
	3			○	○	○	○
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の板書やプリントの完成を確実にを行うとともに、予習・復習を徹底することによって、基本的な知識を早めに定着させていくよう努める。また歴史の大きな流れや時代全体のイメージを把握し、理解するよう努める。 ・過去の歴史と現代の出来事をつなぐ意識することで、学習したことをくらしに生かせるよう努める。 					